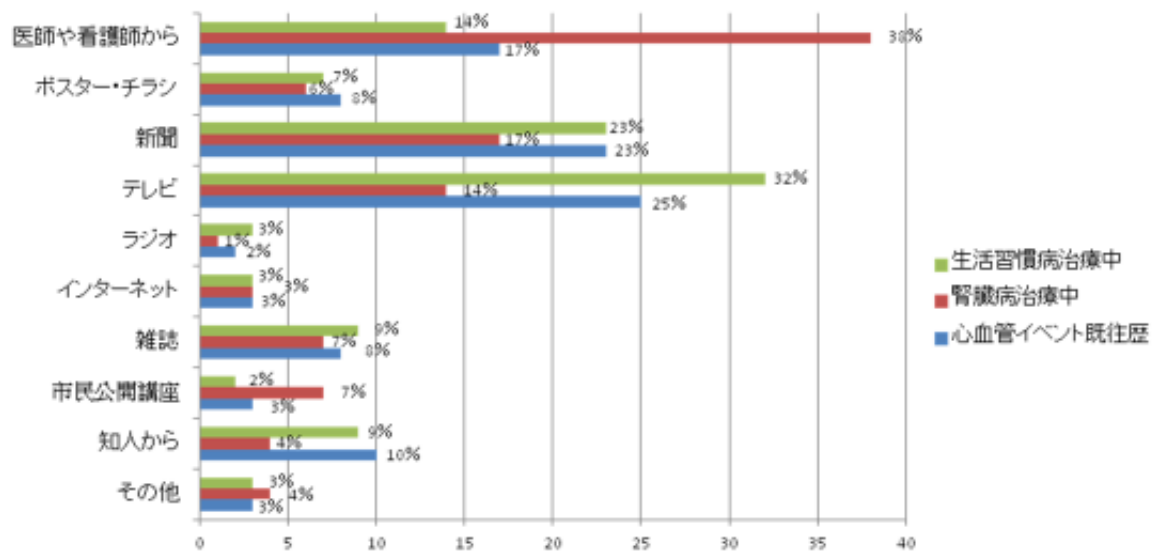
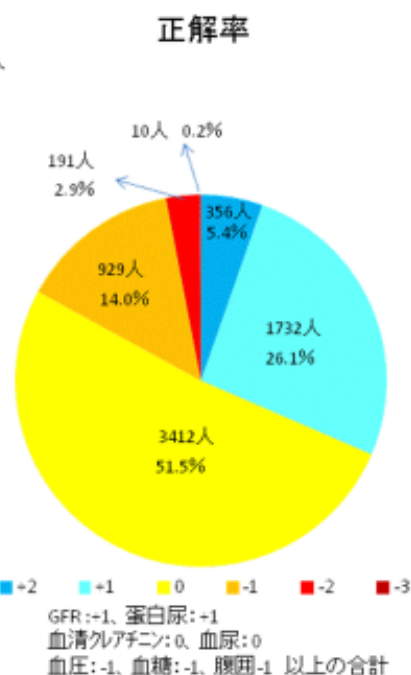
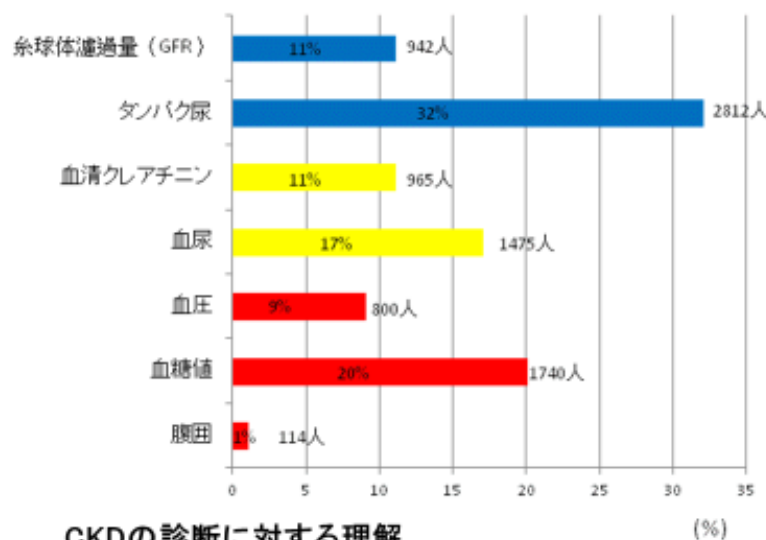


CKDについて聞いたことがあると答えた方(n=882)対象  
 どのような機会に聞かれたか？(複数回答可)



腎疾患治療中では医師・看護師からCKDを聞く機会が多いが、(%)  
 生活習慣病やCVD既往ではCKDについてあまり聞いていない

## 慢性腎臓病(CKD)はどのようにして診断されるでしょうか？ (n=6630 複数回答可)



### CKDの診断に対する理解

GFR、蛋白尿を+1

血圧、血糖値、腹囲を-1として合計点を算出

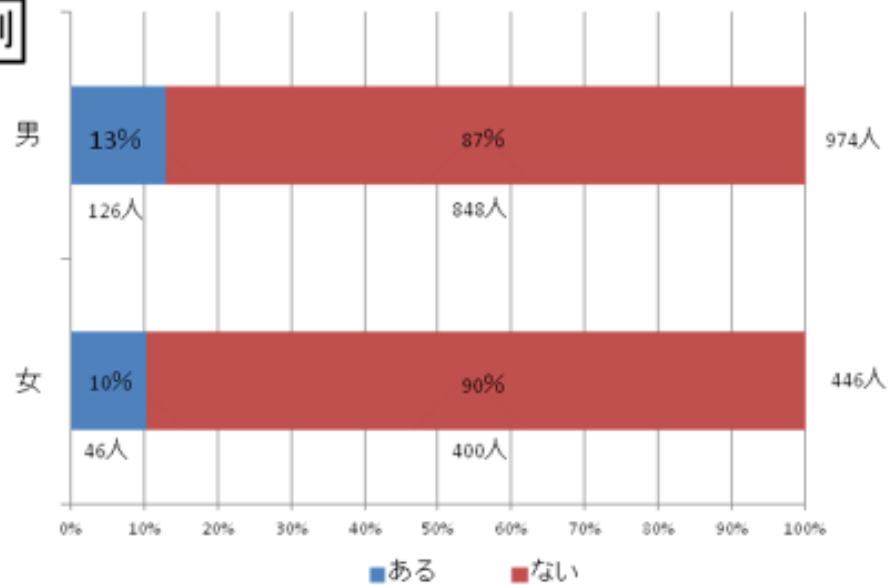
→ しっかり理解しているのは5.4%のみ

CKD患者でも、しっかり理解しているのは5.0%のみ

## 【CKD自覚率】

過去に医師や医療関係者から、腎臓病であるとか、腎機能が低下していると言われたことがありますか？

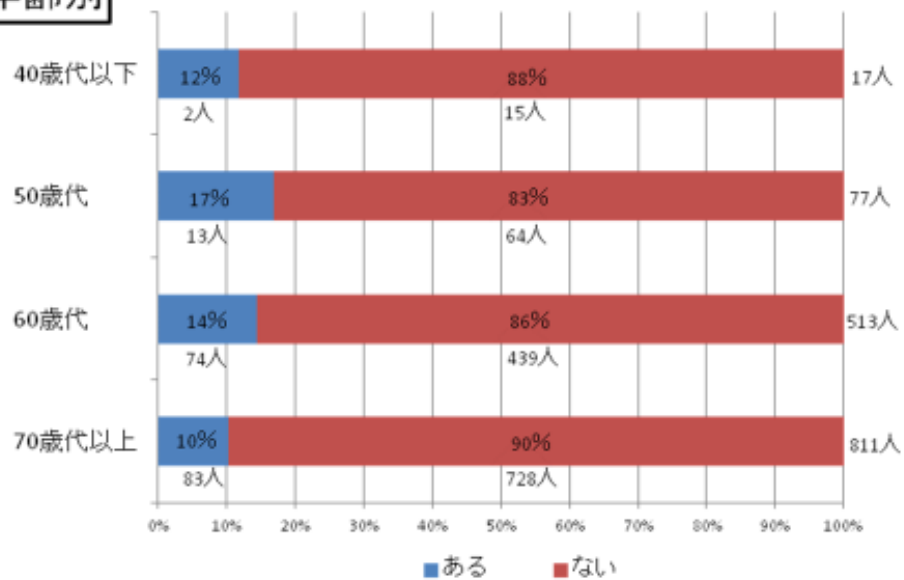
男女別



男性13%、女性10%、男性で有意に自覚率が高かった。

過去に医師や医療関係者から、腎臓病であるとか、腎機能が低下していると言われたことがありますか？

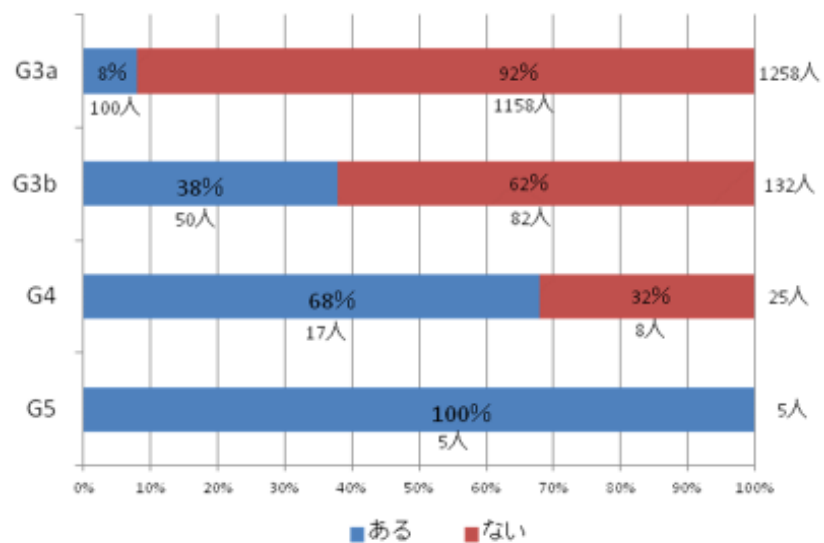
**年齢別**



どの年代も有意差はなかった。

過去に医師や医療関係者から、腎臓病であるとか、腎機能が低下していると言われたことがありますか？

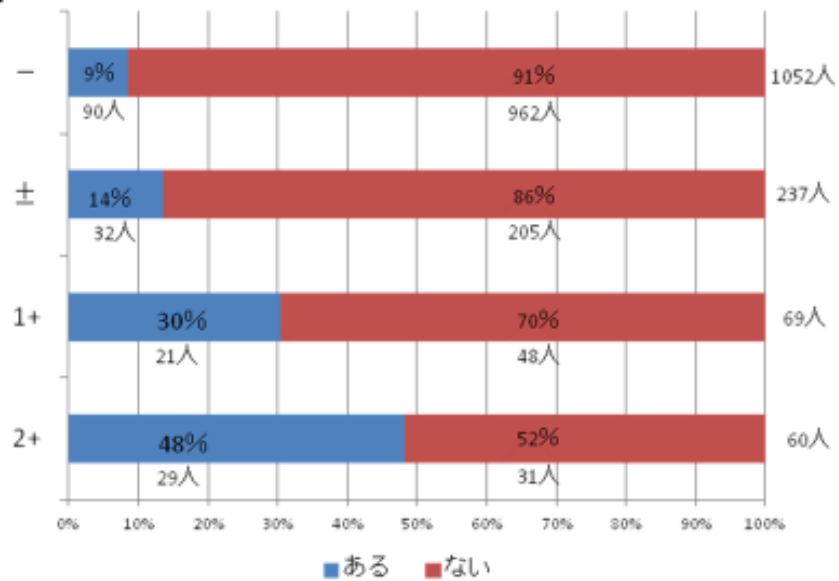
GFR区分別



G3b以降で有意に自覚率が高かった。  
しかし、G4でも32%は自覚していなかった。

過去に医師や医療関係者から、腎臓病であるとか、腎機能が低下していると言われたことがありますか？

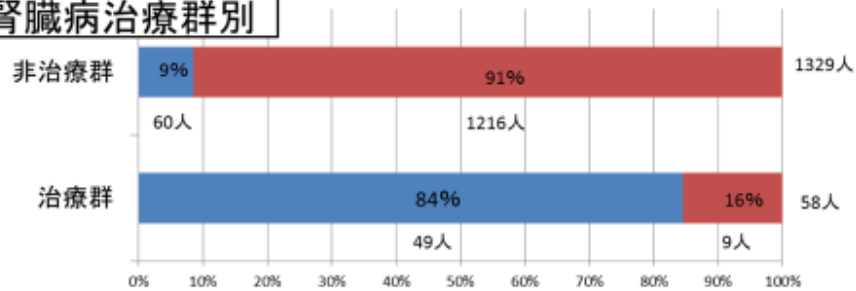
**蛋白尿**



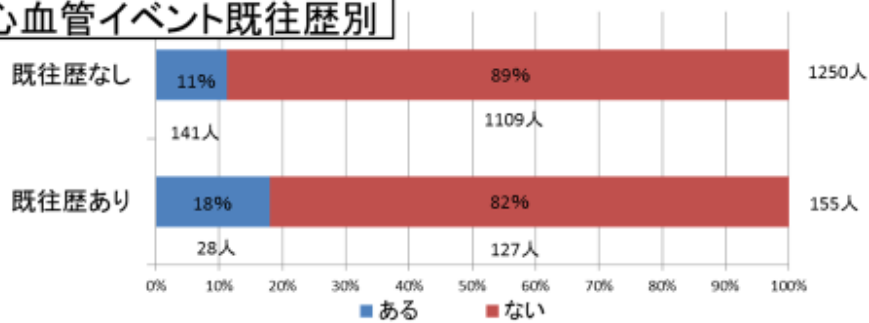
尿蛋白1+以上で有意に自覚率が高かった。

過去に医師や医療関係者から、腎臓病であるとか、腎機能が低下していると言われたことがありますか？

**腎臓病治療群別**



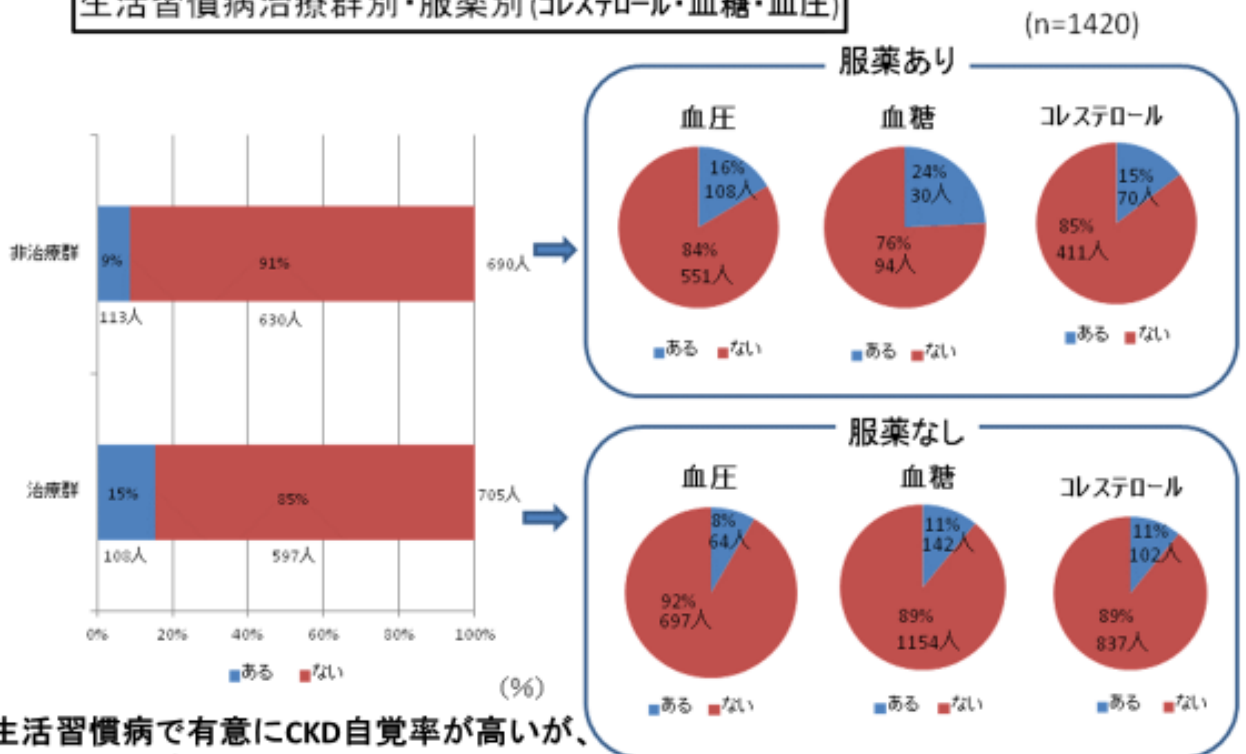
**心血管イベント既往歴別**



腎疾患治療群のCKD自覚率は高いが、CVD既往では自覚率はあまり高くない

過去に医師や医療関係者から、腎臓病であるとか、腎機能が低下していると言われたことがありますか？

生活習慣病治療群別・服薬別(コレステロール・血糖・血圧)





## 結果のまとめ

CKD認知率は

性別：女性、年齢：60歳代以上、GFR区分：G3b以降、尿蛋白：2+以上、生活習慣別治療群で有意に認知率が高かった。

CKD自覚率は

性別：男性、GFR区分：G3b以降、尿蛋白：1+以上、生活習慣別治療群で有意に自覚率が高かった。  
GFR区分：G4でも8人(32%)、生活習慣治療群でも597人(85%)はCKDを自覚していなかった。

## 結語

健康意識の高い人間ドック受診者でもCKD認知率は低く、重症CKDや生活習慣病治療中でもCKDを自覚していない場合が少なくないため、CKD認知率や自覚率を向上する対策が重要である。

# 健診センターにおける CKDリーフレットの効果について

CKD education effect by leaflet among health-check subjects

安田 宜成<sup>1</sup>、柴田 典子<sup>1</sup>、伊藤 和幸<sup>2</sup>、前島 洋平<sup>3</sup>  
秋澤 忠男<sup>4</sup>、若井 建志<sup>5</sup>、丸山 彰一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>名古屋大学大学院医学系研究科CKD先進診療システム学講座・腎臓内科、<sup>2</sup>春日井市保健医療センター、<sup>3</sup>カワニシホールディングス、<sup>4</sup>昭和大学腎臓内科、<sup>5</sup>名古屋大学予防医学

## 背景

- 日本の成人人口におけるCKD患者数は約1,330万人(12.9%)、成人の約8人に1人がCKDであると推計されている。
- CKDは自覚症状に乏しく、比較的新しい疾患概念であるため、一般市民におけるCKDの認知度は低いと懸念される。
- 米国NHANES研究では1999-2000年のNHANES調査でCKD自覚率が24.3%と報告された (Coresh J et al. J Am Soc Nephrol. 2005 Jan;16(1):180-8)。
- 本邦におけるCKD認知率や自覚率に関する報告はほとんど無い。

## 目的

厚生労働省科研費研究「慢性腎臓病(CKD)に関する普及啓発のあり方に関する研究(秋澤班)」においてCKD啓発リーフレットによるCKD啓発効果を介入試験で検討した。

## 方法

- 2013年、春日井市総合健診センターの総合健診受診者に対し、偶数月(2月、4月、6月、8月、10月、12月)は検査終了、全員にCKDリーフレットを渡し、奇数月(1月、3月、5月、7月、9月、11月)は渡さなかった。
- 2013年、2014年の2年連続受診者のうち、2013年偶数月受診者を介入群、奇数月受診者を対照群とし、CKDリーフレットの疾患啓発効果を調査した。
- 自記式アンケートで「慢性腎臓病(CKD)について聞いたことがありますか？」にはいと回答した場合をCKD認知有りとした。
- 認知が2013年に無いから2014年に有るに変化した「新たな認知」、また認知が2013と2014年に有ると「維持された認知」をカイ二乗検定により統計学的に検討した。

## CKD認知度アンケート

認知度アンケート（第1版）へのご協力をお願いします。

このアンケートは、慢性腎臓病（CKD）の認知度を効果的に高める普及啓発手段の策定と推進を目指した「慢性腎臓病（CKD）に関する普及啓発のあり方に関する研究」（研究代表者：秋澤忠典・昭和大学）として、厚生労働省の科学研究費補助金により実施されております。

- ① あなたの性別、年齢を教えてください。 ..  
 ・ 男性 ..  
 ・ 女性 ..
- ② あなたは医療関係者（医師、看護師、管理栄養士など）ですか？ ..  
 ・ はい ..  
 （はいの場合、医師、看護師、管理栄養士、その他） ..
- ③ 過去に医師や医療関係者から、腎臓（じんぞう）病であるとか、腎臓の機能（働き）が低下していると言われたことがありますか？ただし腎結石、膀胱炎や尿失禁は除きます。 ..  
 ・ はい ..  
 ・ いいえ ..
- ④ 過去に狭心症・心筋梗塞や脳卒中の治療を受けたことがありますか？ ..  
 ・ はい ..  
 ・ いいえ ..
- ⑤ 現在、腎臓病で治療を受けていますか？ ..  
 ・ はい ..  
 ・ いいえ ..
- ⑥ 現在、高血圧、糖尿病、脂質異常症（高脂血症）など生活習慣病で治療を受けていますか？ ..  
 ・ はい ..  
 ・ いいえ ..
- ⑦ 慢性腎臓病（CKD）について聞いたことがありますか？ ..  
 ・ はい ..  
 ・ いいえ ..  
 はいの場合は、どのような機会に聞かれたか、いくつかも良いので、丸を付けてください（複数回答） ..  
 医師や看護師さんから .. ポスターやチラシ .. 新聞 .. テレビ .. ラジオ ..  
 インターネット .. 雑誌 .. 市民公開講座 .. 知人から ..  
 その他（自由回答） ..

### <慢性腎臓病(CKD)の自覚>

過去に医師や医療関係者から、腎臓（じんぞう）病であるとか、腎臓の機能（働き）が低下していると言われたことがありますか？ただし腎結石、膀胱炎や尿失禁は除きます。

“Have you ever been told by a doctor or other health professional that you had weak or failing kidneys (excluding kidney stones, bladder infections, or incontinence)?”

- ・ CKD になりやすい ..  
 (オ) 家族の誰かが腎臓病の人 ..  
 ・ CKD には関係はない ..  
 ・ CKD には関係はない ..
- ⑧ 腎臓の機能が低下するとどのような症状があると思いますか？以下の（ア）～（オ）について、それぞれどちらかに丸を付けてお答えください。 ..  
 (ア) 高血圧 ..  
 ・ ある ..  
 ・ 関係がない ..

説明に使用した資料

## 慢性腎臓病(CKD)は 私達の生活をおびやかす 新たな「国民病」です!

最近、慢性腎臓病(CKD)という新しい病気の概念が注目されています

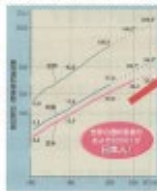


慢性腎臓病(CKD:Chronic Kidney Disease)とは?  
 ①蛋白尿など、腎臓の障害がある  
 ②糸球体濾過量(GFR)が60未満に低下している  
 CKDは①か②のいずれかが3カ月以上持続した状態です

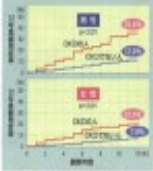
### 1. 慢性腎臓病(CKD)は透析を要する腎不全の予備軍です

慢性腎臓病(CKD)が重症化すると透析治療が必要になります。日本の透析患者さんは約30万人、国民の約400人に1人です。透析患者さんの増加は、世界共通の問題です。

世界、米国、日本で透析患者さんは増えていきます



CKDがある人は心血管疾患になりやすい



### 2. 慢性腎臓病(CKD)は心筋梗塞や脳卒中などの心血管疾患に対する重大な危険因子です

最近になり、中程度の腎機能低下や、蛋白尿があると、心筋梗塞や脳卒中といった心血管疾患の危険が高まることが分かってきました。慢性腎臓病(CKD)では心血管疾患の発症率が約3倍と報告されています。

### 3. 慢性腎臓病(CKD)推定患者数は約1,330万人、新たな国民病です!

慢性腎臓病(CKD)は自覚症状がないため、ほとんどの慢性腎臓病(CKD)患者さんは自分が病気であることを知りません! **必ず健康診断を受けましょう。**

制作:厚生労働省科学研究「慢性腎臓病(CKD)に関する普及啓発のあり方に関する研究班」

## 毎年3月第二木曜日は 「世界腎臓デー」



世界腎臓デーにあわせ、世界6大陸100カ国以上の国々でさまざまな啓発キャンペーンが開催されます。

### “あなたの腎臓は大丈夫?” CKDは早期発見が大事! 必ず健康診断をうけましょう

慢性腎臓病(CKD)は、尿と血液の検査で簡単に診断できます! 尿検査ではタンパク尿が重要です。



#### GFR(糸球体濾過量)とは?

腎臓は毎日約150リットルの尿の元を作っています。そのうち必要なものは再利用されて、毒素などの不必要なものが最終的に「~2リットルの尿に溶けた形で体外に排泄されます。尿の元をつくる働きがGFRです。クレアチニンから特別な式で計算します。元気な人のGFRはおおよそ100ですから、自分の腎機能が何%くらいかが理解できます。

自分の腎臓の働きをホームページでチェック!  
<http://j-ckd.jp/ckd/check.html>

#### CKDは治療ができます

##### 慢性腎臓病(CKD)と診断されたら

- 1.きちんとかかりつけ医の先生の診察を受けましょう。
- 2.禁煙し、肥満を是正して、規則正しい生活をしましょう。
- 3.血圧を適切にコントロールしましょう。血圧の管理目標は130/80mmHg以下です。減塩が大切です。
- 4.糖尿病や脂質異常症も、しっかりと治療しましょう。
- 5.腎機能が高度に低下すると貧血などの問題を生じますから、腎臓専門医の診察を受けましょう。
- 6.腎機能が低下するとお薬の確認が必要です。薬剤師さんにも相談しましょう。

### CKDを早期発見、しっかり治療!透析や心血管疾患にならないようにしましょう



日本慢性腎臓病対策協議会 <http://j-ckd.jp/jckd/>

〒113-0033 東京都文京区本郷3-28-8日内会議2F

制作:厚生労働省科学研究

「慢性腎臓病(CKD)に関する普及啓発のあり方に関する研究班」



認知率

## 対象者の特性 (2013年)

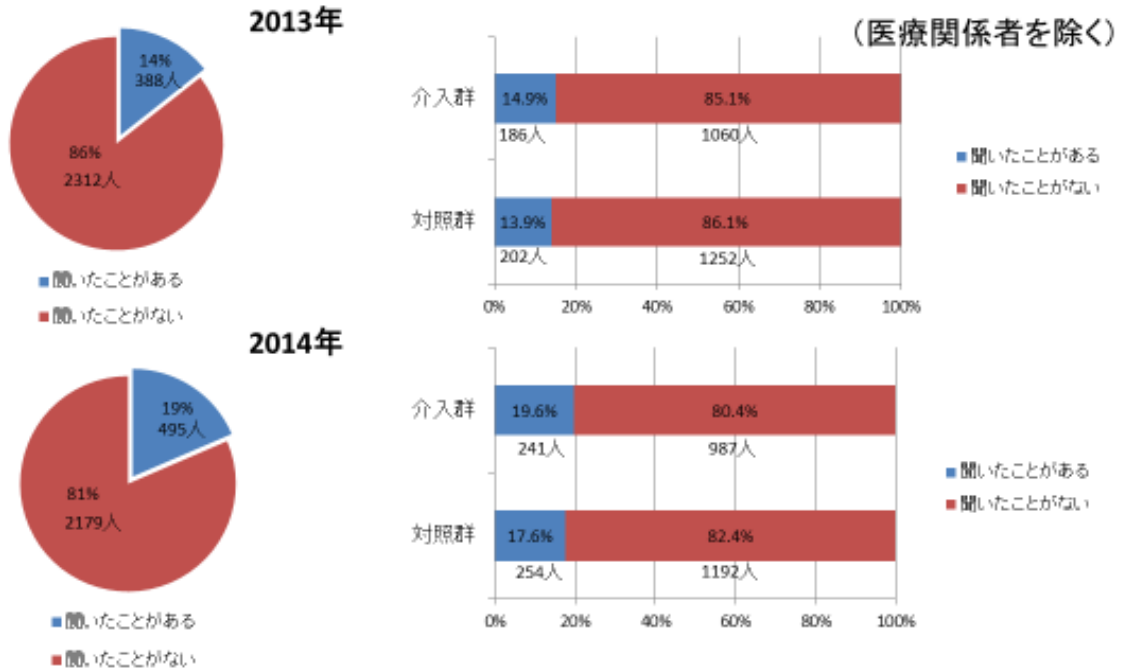
医療関係者を除く

	介入群 (n=1250)	対照群 (n=1465)
性別 男	699人 (55.9%)	787人 (53.7%)
女	551人 (44.1%)	678人 (46.3%)
年齢(歳)	64.4±9.7	65.6±9.3
蛋白尿(1+以上)	35人 (2.8%)	57人 (3.9%)
CKDステージ G3a	224人 (17.9%)	250人 (17.1%)
G3b	25人 (2.0%)	24人 (1.6%)
G4	3人 (0.2%)	5人 (0.3%)
G5	1人 (0.1%)	1人 (0.1%)



認知率

慢性腎臓病(CKD)について聞いたことがありますか？

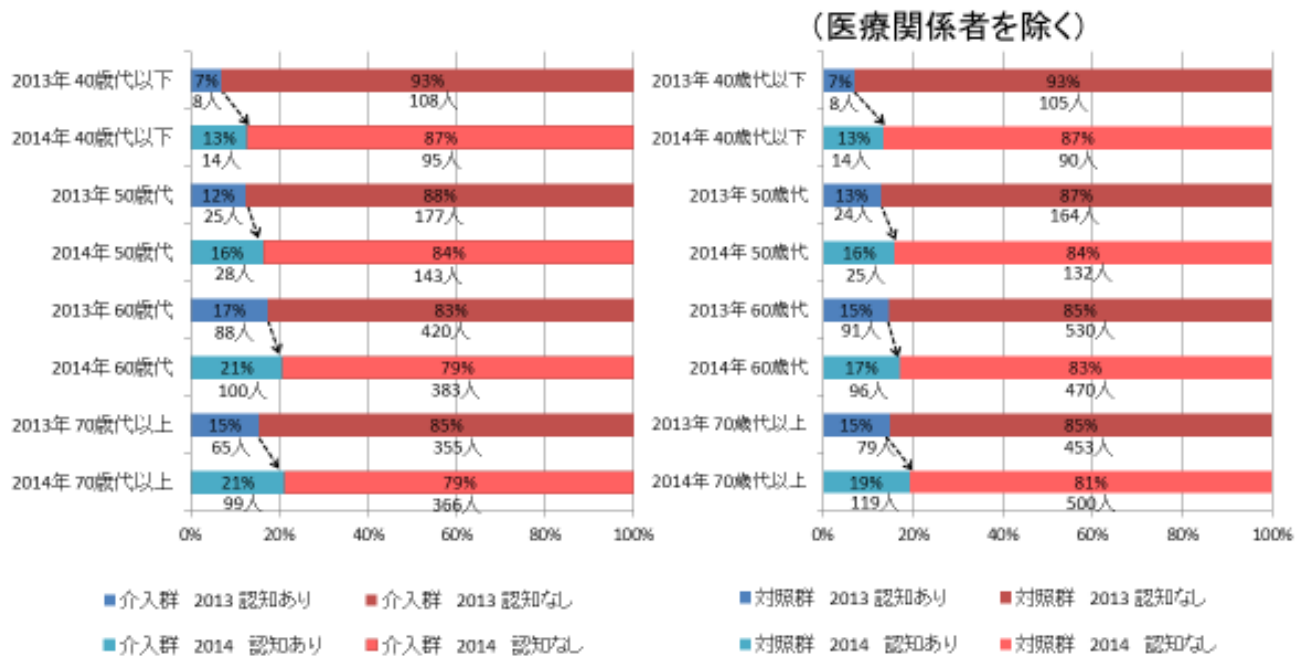


- CKD認知率は介入群、対照群ともに2014年増加した。
- 2014年のCKD認知率は介入群と対照群で有意差を認めなかった。



## 認知率

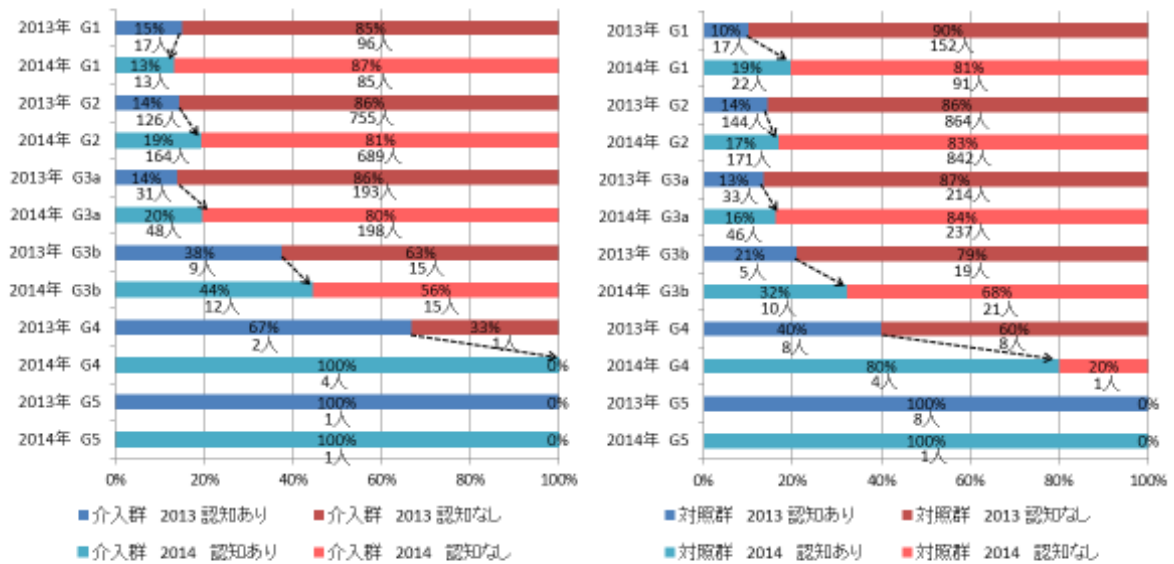
### 年代別のCKD認知率と介入効果



➤ CKD認知率は年代とともに高くなったが、各年代で両群間に有意差無し。

認知率

## GFR区分別 慢性腎臓病(CKD)について聞いたことがありますか？ (医療関係者を除く)



➤ CKD認知率はGFR区分が進行するほど高いが、介入群と対照群で有意差なし。